

## I. LNG の安定調達

### 1. 長期契約

長期契約の重要性についての認識は評価。しかし、LNG の将来需要に不透明性がある中、長期契約が十分確保されないおそれがある。このため、民間の取組を基本としつつ、政策的支援が重要であるところ、本日の資料には具体策が示されていない。政策の早期具体化を強く期待。その際には欧米にあるようなポートフォリオプレイヤー的機能を日本のプレイヤーにも具備されるよう後押しすることも重要。

### 2. 輸送

LNG の海上輸送のためには保険が必須。こうした保険の再保険を支えるのがロンドンのロイズなど。再保険が無いと海上輸送のための保険が供与されず、結果的に海上輸送が実行できない。日本の LNG 輸送が、英国の再保険業者や英国政府の政策によって左右されるのでは、日本のエネルギー安全保障上著しく問題。日本として、いざという事態に備えて再保険の手段を独自に早く備えておくべき。

### 3. 在庫

日本の現状の LNG 在庫水準は 2 週間程度。様々なリスクを考えると現状の水準は低すぎると言わざるを得ない。この在庫水準の引き上げとそのための効率的、現実的な政策を早く具体化することが必要と考える。

## II. レアアース等重要鉱物

### 1. 中国依存

禁輸が起きた 2010 年時点での日本のレアアース中国依存度は 90% 超。その後の日本の官民の努力で数年前には 60% までに依存度は低下したものの、その後上昇し、直近では依存度は 70% まで上昇と認識。なぜ中国依存度が再び上昇しているのか、その要因をどう分析しているのか？

### 2. 対策の強化

上記要因分析を踏まえ、レアアースの対中依存度低下に向けた対策の強化が必要だと考えられるが、どのように対策を具体的に強化しようとしているのか？こうした対策によってきちんとインパクトある結果を招来できると考えて

いるのか？

### 3. 備蓄

対中依存度が高い状況がどうしても当面は続く中、備蓄は極めて重要。レアアースの国家備蓄の取組は評価するが、石油の例を考えると、民間備蓄も重要ではないか？今やレアアースはその重要性和リスクを考えると石油に準じた備蓄の取組が必要ではないか？民間備蓄の制度化の必要性についてどう考え、取り組んでいるのか？

## III. 脱炭素資源

### 1. 次世代燃料

次世代燃料の大きな問題はそのコストの高さ。この大きな障害を乗り越えていくための包括的な取組が不可欠。早期具体化に期待。

(1) コストを下げていくことは当然不可欠。このため、①イノベーションの加速、②スケールの確保による規模の経済の実現、③ブリッジとして期待されるバイオ燃料は比較的成本が安いと考えられるが、世界的には量の制約があるため、グローバルなバイオ資源確保のための取組の抜本的強化が必要。石油・ガスの確保に向けた政策に準じた体制整備が JOGMEC の活用を含め必要ではないか？

(2) 政策的なインセンティブの導入

(3) 適切な規制・制度的枠組みの導入

### 2. 次世代地熱

地熱資源が豊富な日本について次世代地熱には大きな意義。カナダ発のベンチャーがドイツで今年 11 月から商業運転を一部スタート。これに対し、日本の計画では 2030 年代早期商用化とされている。世界の動きから大きく遅れている。豊富な地熱資源を持つ日本としては大変残念。次世代地熱開発・導入に向けた取組みの抜本的加速が必要だと考えるが、エネ庁としての考えと具体的な取組みを教示願いたい。

## IV. 総括

事務局が適切に問題意識を共有していることは評価。しかし、重要なのは、①具体的なアクションに移すこと、②スピードが加速したものであること、③結果につながるインパクトのあるもの、の 3 点が重要。事務局の一層の取組に強く期待したい。